

## 2分間スピーチ

授業で数名ずつスピーチをおこなう。クラス全員の前で声を出すことにより、次のことを身につけるねらいがある。

### (ア) ねらい

- ① 落ち着き 聞く人を見て、適度の緊張状態でも話せるようにする。
- ② 発声 声を數十人に聞こえるように発することができるようにする。
- ③ 構成 原稿を見ず、話の内容をまとめて、わかりやすく話せるようにする。

入社試験や推薦入試の面接の時の緊張と、クラスの前でかしこまつて話すときの緊張と、どちらが大きいかといふと、クラスの前で話すときだろう。これを経験しておけば、面接試験でも大丈夫。

### (イ) 方法

- ① ランダムにあてる。(エクセルのランダム関数で順番を決める。) ② 1回に付き2分以内。
- ③ 1時間に2～3名。④ 3学期末まで続け、数回スピーチをする機会がある。
- ⑤ 1分45秒になつたら合図を送るので、その後20秒以内にやめること。(20秒たつたら打ち切る。)

### (ウ) 内容

基本的に自由であるが、必ず肯定的、前向きな内容にし、否定的、批判、文句、後ろ向きなものは不可とする。周りのパフォーマンスを上げられるような前向きな、楽しい、笑える話題を心がけよう。思いつかない人は次から選んでみること。(スピーチの話しうしだけ書く)

- ① 「私が勧める本は○○○○です。お勧めの点は3点あります。1点目は……」
- ② 「私が将来なりたいものは○○○○です。その理由は3点あります。1点目は……」
- ③ 「私が知つてゐる○○○は3点あります。1点目は……」
- ④ 「私の高校生活をひとことで表すと○○です。その理由は3点あります。1点目は……」
- ⑤ 「私の将来したいことは○○です。どうしてそう考えたのか理由は3点あります。1点目は……」

### (エ) フォーマット

- ① ナンバリングとラベリングを使う。② ラベルは2～3つ。③ 敬語を使う。
- ④ 「えーっと」や「うーん」、「あのー」などをなるべく発しない。⑤ 顔をみんなに向けて話す。
- ⑥ 見せたいものがあつたらそれをみんなに見せてよい。(ショウ&テル)
- ⑦ 否定的、批判的、文句などの後ろ向きな内容だつた場合。

- ① スピーチ有効回数
- ※ 次の場合はスピーチ有効回数に含まれない。
- ② 笑つたりにやついて正面を見られない場合
- ③ 無言や「えー」、「あのー」などというメタ・ディスコースが10秒以上続いた場合。
- ④ 1分45秒以前にスピーチを打ち切つた(または無言になつた)場合。
- ⑤ 否定的、批判的、文句などの後ろ向きな内容だつた場合。
- ⑥ 相互評価点数
- ・ 声の大きさや発音(滑舌)がよく聞き取れたか。
- ・ 話す速度は聞き取りやすいものであつたか。
- ・ わかりやすい内容だつたか。
- ・ 聞いている人に視線を向けて話してたか。

### (オ) 評価



# 文章の構成～ナンバリングとラベリング～

文章を書く時にある一定の「型」を決めて書くと書きやすいし、読み手も決まった型で書かれてあればそれに沿って読めるので理解しやすくなる。一番読みにくいのはあつちに行つたりこつちに行つたりしている文離滅裂な文章である。

新聞は、ある決まった型で書かれている。

「タイトル（見出し）→記事」

「大まかなこと→詳細なこと」

「重要なこと→粗末なこと」

「時間的に近いこと→時間的に遠いこと（過去・未来）」

このようある決まった型を設けることにより、読みやすさを追求している。また、最後まで読まなければわからない文章ではなく、忙しい時は始めの何行かを読むだけで何が起つたかわかるようしている。

我々は新聞記者ではないので、新聞のように書かなくても良いかもしれないが、ある決まった型を用いて書けば読み手も読みやすくなる。その決まった型として「ナンバリングとラベリング」がある。

## ナンバリング

「ナンバリング」とは、「ナンバー」を付けることである。ただ付ければいいということではない。まず全体が何番まであり、今は何番目かを示すのがナンバリングである。

とした場合、「三つある」と全体像を示し、「一つ目は……」というように全体の中での位置を示すことによって、読み手は「今、全体の何番目だな」ということが分かる。縦書きの場合は「一、二、三……」と漢数字を用いるが、横書きの場合は算用数字を用いる。

## ラベリング

しかし、右の例文は、まだ読みにくい。「一つ目、二つ目……」とはいっても、「結局一つ目はだつたかな？」とすんなり頭に入つてこないからだ。そのためには話の内容にラベル」を付けるのが「ラベリング」だ。「ラベル」は、飲み物のビンに何が入つていてか貼つてあるシールのことだ。シールを見れば何が入つていてかすぐにわかる。「ビール」と書いてあつたり、「ジャム」と書いてあつたり、「毒」と書いてあつたりする。文章にも「ラベル」を付ける。そしてラベル」とに改行すれば段落が完成する。

私は好きなことが三つある。一つ目は食べること。二つ目は遊ぶこと。三つ目は寝ることだ。一つ目の食べることについて説明する。私は回転すしやカレー屋や焼き肉屋に行つてご飯をよく食べる。二つ目の遊ぶことについて説明する。私はテレビゲームをしたり、マンガを読んだり、友人と公園でサッカーをしてよく遊ぶ。三つ目の寝ることについて説明する。私は授業中や、風呂に入りながらや風呂から上がってからや、朝起きてからよく睡眠をとる。

以上で四段落の文章ができた。第一段落は全体の構成。第二段落以降は第一段落で示したラベルをぐつと読みやすくなつたはずだ。